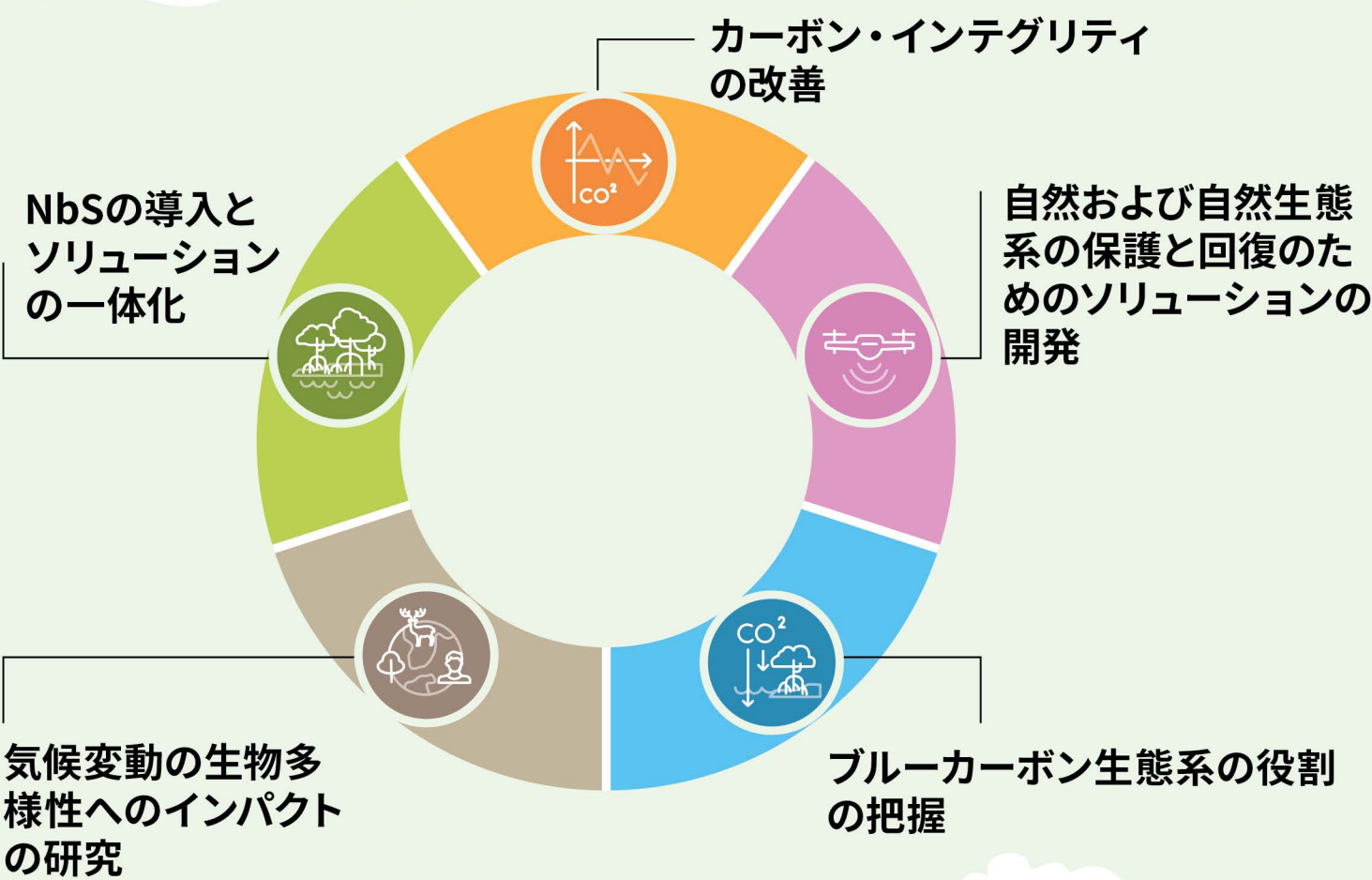


Centre for Nature-based
Climate Solutions:
カーボン・インテグリティ
研究を通じたNbSのポテンシャルの追求

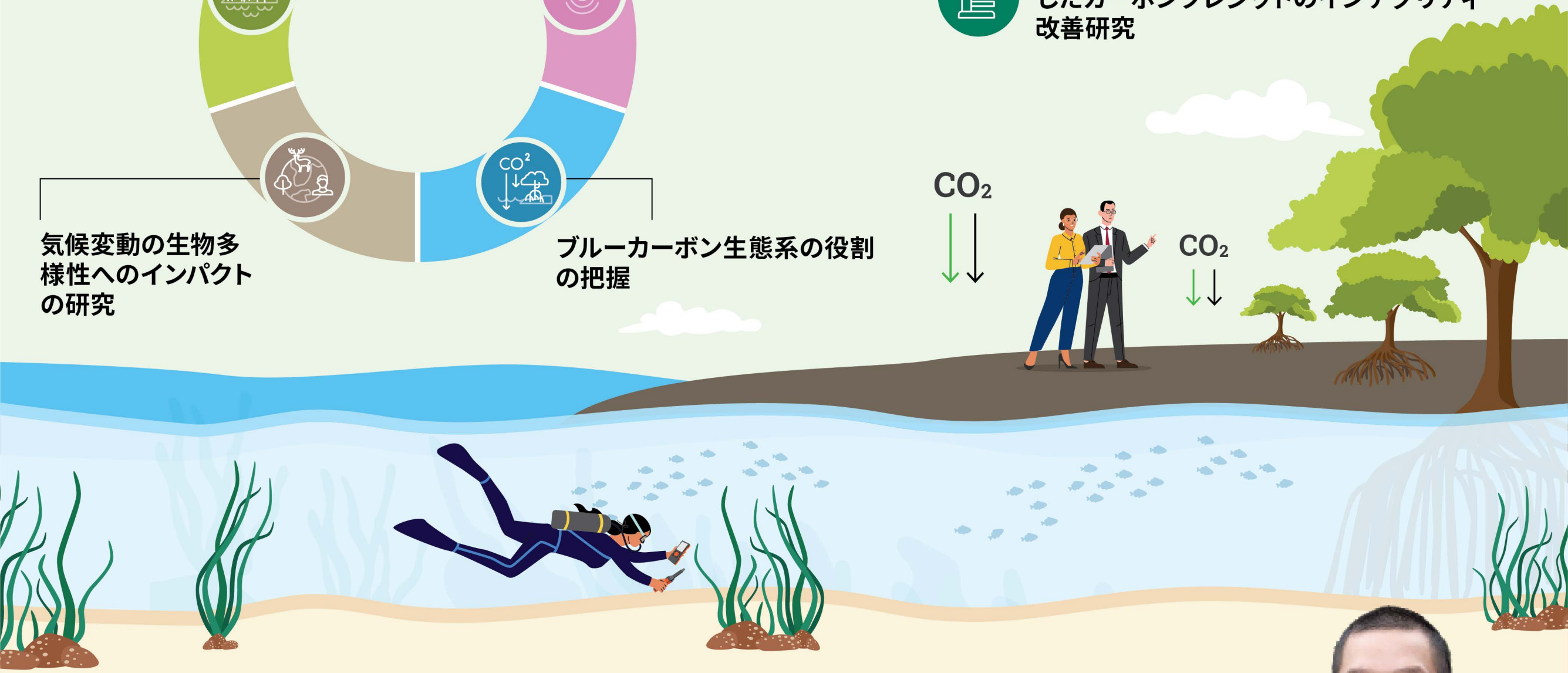
SG

研究の焦点



パートナーシップ

- 東南アジアにおけるブルーカーボン埋蔵量の調査を目的としたほかの研究機関や企業との連携
- パートナーとのコラボによる自然を基盤としたカーボンのクレジットのインテグリティ改善研究



「シンガポールのカーボン・サービスのハブとしての役割を発展させることへの関心のため企業は国の金融インフラと科学に関する専門知識を活用することができます」

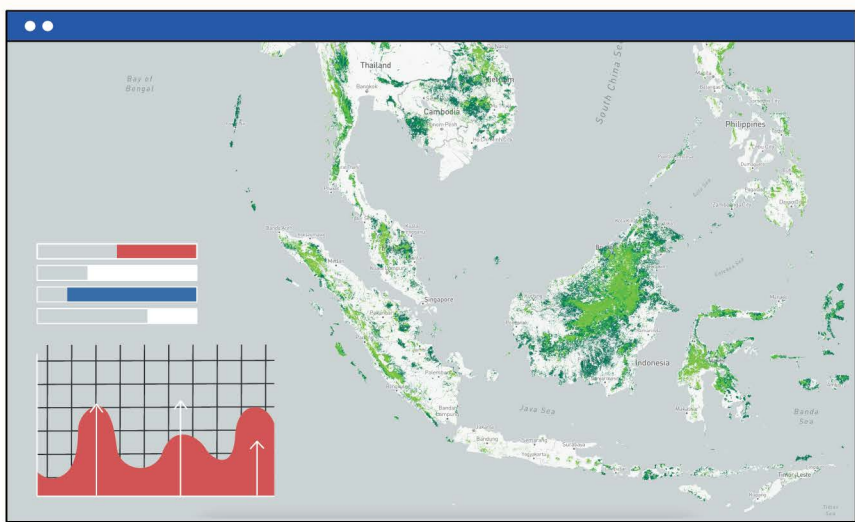
コウ リアン・ピン (Koh Lian Pin) 教授
シンガポール国立大学CNCSディレクター



COP27：カーボン探査
ダッシュボード

About

2022年に開催されたCOP27で発表された、自然を基盤としたプロジェクトを開発可能な、高品質のカーボンのクレジットが生み出せる場所を特定するためのインタラクティブなマッピング・ソフトウェア。
プロジェクトの期間、コスト、炭素価格などの想定に基づき、クレジットの利回り
と投資利益回収率の推定値を計算することができる。CNCSの研究者による複数のピアレビュー済み研究結果に基づき開発したオープンアクセスのウェブツール。



COP28：シンガポール国立大学発の
新シナリオモデリング施設

About

COP28で発表された、ダッシュボードでの作業を基にCNCSが100万シンガポールドルかけ立ち上げたシナリオモデリング施設。
シンガポール国立大学のキャンパス内にあり、ユーザーが集まりカーボン市場に関する政策や市場の変化に関する知識や予測を基にさまざまなシナリオモデルの作成が可能。

3タイプの炭素クレジットと、東南アジア10カ国におけるそれぞれの炭素クレジットの割合を示すインタラクティブ・プラットフォーム。

Impact

シナリオモデリング機能により、瞬時にさまざまな政策や市況下での炭素プロジェクトの計算を実行。意思決定者の新プロジェクトの設定やクレジット調達に最適な戦略を特定できるため、より迅速な自然保護活動の推進が可能に。

[こちらのリンク](#)からカーボン探査ダッシュボードをお試しください。